

第 71 号
発行所

秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援助協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

令和2年1月1日現在
保護司数 652名

*** 謹 賀 新 年 ***

更生保護法人秋田県更生保護援助協会
理事長 小 畑 悟
更生保護法人秋田至仁会
理事長 加 藤 忠 輔
秋田県保護司会連合会
会 長 柳 沢 和 子
秋田県更生保護女性連盟
会 長 太 田 宥 子

N P O 法人秋田県就労支援事業者機構
会 長 伊 藤 萬 治 郎
秋田県BBS連盟
会 長 菅 原 大
秋田保護観察所
所 長 佐々木 康 志

新年明けましておめでとうございます。
「令和」はじめてのお正月は、干支に満ちた、はじまりの年となります。希望を祈り申し上げますと共に、更生保護関係機関・各団体の皆様方には、平素より格別のご尽力を賜りながらのご協力に、深甚なる謝意を表します。
令和の新時代が2年目を迎えたことで、省みると更生保護活動に微力ながら携わってきた者として感じますのは、15年程前から保護観察対象者の処遇と改善更生のために各種プログラム、就労支援を目的とした秋田県就労支援事業者機構の設立を始めたとする各施策が目まぐるしく押し寄せてきたように思います。誠に改革時代と言っても過言ではないと思います。

思い起こしますと保護観察対象者の面接のため矯正施設を訪問して、矯正と保護の連携と対象者に関する情報の共有の必要性を学びました。と申しますのも矯正施設で、担当教官から受けた対象者の心理状況・指導・教育等の説明は、対象者が社会で生きていくための方向性等を保護司へ説示していると思ったのです。対象者の環境調整に役立ちました。しかし対象者に必要な職業・住居・医療・福祉の支援体制が備わっていなかったことから、再犯を懸念し、保護観察官と少しでも対象者の必要な社会支援をと、どんなに探し廻ったことか。
再犯防止対策の重要性に鑑み、平成24年から政府が「再犯防止推進計画」を策定し、26年には「再犯防止推進計画」が制定され、29年に再犯防止推進計画が制定され、その実施に向け就労支援・再犯防止等活動が動き出しました。秋田県・秋田市等でも再犯防止推進計画策定の検討が進められているところで社会にとって朗報となりますよう願っております。

結びに更生保護関係各位のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



希望に満ちた社会資源を祈りながら

秋田県保護司会連合会会長 柳 沢 和 子



更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

10月11日秋田少年鑑別所において当協会の研修会が開催され理事・監事の方々の出席のもと、秋田少年鑑別所内施設見学と石黒所長による概況説明等のご講話をいただき施設内の状況等、お話を伺い有意義な研修会となりました。

☆長年のご功勞により、次の方々に表彰状が更生保護制度施行70周年記念第52回秋田県更生保護大会で伝達されました。

- ・更生保護法人全国更生保護法人連盟理事長表彰 齊藤満理事
- ・東北地方更生保護委員会委員長表彰 辻良之理事 細谷重直理事

当協会運営に對しましてご寄附を戴きました皆様、また普通会员・賛助会員の方々にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

篤志者寄附金の御芳名

一金 20万円
宮原 文彌様

一金 10万円
柳沢 和子様 渡邊 清明様

秋田県保護司会連合会

退任保護司座談会

11月30日アキタパークホテルにおいて退任保護司座談会が開催されました。佐々木所長から法務大臣感謝状が贈呈され、柳沢県保連会長からは功労章が贈られました。

引き続き、昼食を交えながらの座談会では長年の保護司人生の中で担当して苦勞したケースや思い出話など感慨深げに話されておりました。

保護司歴50年に及ぶ活動が続けて下さった宮原前県保連会長は、50年分の思い出話と共に今後も微力ながら更生保護活動に関わっていきたいという力強いお言葉を頂きました。皆様長い間ありがとうございます。



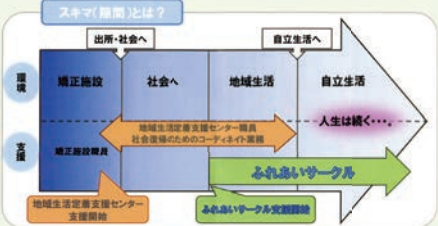
一筆啓上

更生保護支援の隙間にボランティアを！

更生保護支援ボランティア
ふれあいサークル
千葉 恵美



当ボランティアサークルは、更生保護に特化した支援を行うことを目的として平成24年に発足しました。矯正施設を出所した高齢者や障害者は、家族や親戚と疎遠になったり、頼れる友人がいないという孤独な生活に陥りがちです。万引き等の軽犯罪の主な原因は孤立や孤独であるとの調査結果が示すように、地域で孤立せずに安心して生活を送るためには、定期的に訪ねてくる人や困った時に相談できる人の存在が大切です。当サークルは刑を終えて福祉的にも衣食住支援が完了したあとの高齢者や障害者を対象とし、彼らの居所を定期的に訪問して話し相手になったり、悩み相談に応じたり、一緒に誕生日を祝ったりと、地域生活での身近な寄り添い役としての活動を行っています。ボランティアが寄り添うことで、物質的な支援だけでは補えない精神的な部分の隙間を少しでも埋めることができ、そのことが再犯防止にも繋がれたら、とい



のメッセージを発信しています。地域で共に生活する人が孤立しないよう、再犯しないよう、少しでも「隙間」を支えられたいと思っています。

※当サークルの趣旨や運営、活動内容については、「更生保護みちのく」(東北地方保護司連盟会報2015.4)や「更生保護」(月刊2015.6)、「ひまわり」(秋田地区保護司会会報2016.3)等に掲載させて頂いております。



更生保護制度施行70周年記念大会に参加して

〈全国大会〉

令和10月7日 東京国際フォーラム

日本更生保護女性連盟
副会長 太田 宥子

更生保護制度施行70周年記念全国大会が10月7日東京国際フォーラムにて約五千人参加の下開催されました。先立ち、野沢委員長他委員46名が東京更生保護会館にて準備会を2回行い、大会を快晴の良き日に迎え、開会の辞、黙とう、国歌斉唱、式辞。主催者の全国保護司連盟野沢大会長に続き、法務



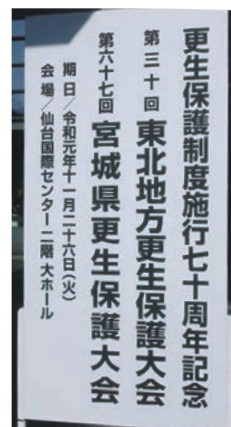
大臣、小池東京都知事のあいさつがあり、法務大臣表彰、保護関係者受賞と続き、受賞者代表が謝辞を述べました。この間両陛下は、身じろぎもなさらず、穏やかな表情でお聞きになられておりました。天皇陛下からは、労苦をねぎらい、国民によりそっての励ましのおことばがございました。ご来賓のご祝辞は、安倍内閣総理大臣、大島衆院議長、山東参院議長、大谷最高裁長官、菊池日弁連会長、谷垣全国保護司連盟副会長、続いて大会宣言朗読があり、ここで、天皇皇后両陛下は会場一杯の大きな感激の拍手に送られご退場になりました。見事な感動の記念大会でした。

〈東北大会〉

令和11月26日 仙台国際センター

男鹿地区保護司会保護司
社会福祉法人 男鹿更生会
理事長 佐藤 哲彦

更生保護制度施行70周年・第30回東北地方更生保護大会におきまして当社会福祉法人男鹿更生会の運営する「居宅総合福祉施設 かいせい」が、社会貢献活動協力者（団体）として東北地方更生保護委員会委員長感謝状をいただき、登壇し代表受領をいたしました。



佐藤哲彦氏へ感謝状伝達



次回開催県としてあいさつ

早朝、仙台へ向かい、養老猛司先生の講演の後半から拝聴して心に染み入り感激し、清興「加茂綱村太鼓」の力強い演奏に感動をしました。

当施設は、開設計画当初から社会福祉法人の役割としての「社会貢献」「地域拠点」の機能を持ち「施設開放」「障がい者雇用」「協力雇用主」等を皆様のご理解をいただきながら推進し現在に至っております。

ここに、関係各位のご協力に感謝いたしますとともに、今後の活動拠点としてのあり方や、地域での活動をするることにより「社会参加」の基点となりますように、なご一層の努力をいたします。

〈県大会〉

令和11月14日 秋田市文化会館

本荘地区保護司
鈴木 芳紀

更生保護制度施行70周年記念・第52回県更生保護大会が開催され、天皇陛下のおことば「奉読や杜明運動作文コンテスト入賞者の朗読、NHK秋田放送局長の講演の後、更生保護活動に功績のあった多数の皆様の表彰があり、平成から令和への新しい時代の幕開けに相応しいものでした。

令和元年はラグビーワールドカップでの日本チームの活躍があり、流行語大賞にチームのスローガンの「ワンチーム」が選ばれました。私も犯罪や非行をした人たちが社会の一員として自立し、改善更生できる「誰一人取り残さない社会」実現に取り組み支援のネットワークの一員として先輩諸氏のご指導をいただきながら、微力ながら一助となれるよう日々研鑽を重ねていきたいと思いました。



秋田県更生保護女性連盟

★東北地方更生保護女性会員研修会

9月12日～13日盛岡市ホテルメトロポリタンにて開催されました。東北6県より106名、秋田県からは東北地方更生保護女性連盟太田宥子会長含め16名の会員が参加しました。

始めに「悲しみを秘めて花は咲く」(一人も取り残さない社会へ)という演題で日本更生保護女性連盟千葉景子会長より講話を頂きました。

次に「地域から、より頼られる更生保護女性会を目指して」の主題のもと研修に入りました。第一分科会「女性の特性を生かし、地域の再犯防止を推進していくことについて」、第二分科会「子どもたちの健全育成を支える具体的な行動、学校との連携について」、第三分科会「更生保護女性会綱領等の再確認を踏まえた、会員の意欲向上や識見を深めるための効果的な研さん、活動実践の在り方等について」、第四分科会「東日本大震災を経験した東北更女として、地域にどう手を差し伸べていくか具体的な活動について」それぞれ熱心な研究討議が行われました。

次に「子育て支援モデル指定地区活動状況」について協和地区会が報告しました。

★日本更生保護女性会員中央研修会

10月23～25日東京アルカディア市ヶ谷私学会館で開催され、藤里地区佐々木田鶴子会長、美郷地区石田重子会長が参加し、「地域を編む」というテーマのもと講義、ワークショップ

プ等研修しました。

★秋田県更生保護女性連盟会員研修会

11月20日秋田ビューホテルにて県内各地区より会員140名参加のもと開催されました。秋田保護観察所廣瀬直子保護観察官のご臨席を賜り、午前中は東北地方更生保護女性会員研修会、日本更生保護女性会員中央研修会の報告、午後は民謡日本一、民謡宝庫我が秋田の歌姫小野花子様の民謡を拝聴し、これからの活動に向かう熱い活力を頂きました。

秋田至仁会

補導員 米内 満政

本年9月、新しく秋田至仁会の補導員となりました、米内満政と申します。よろしくお願いいたします。

私はこれまで、精神科病院や精神科クリニックで精神保健福祉士として勤務してまいりました。主な業務は、入院中や外来通院中の方々の生活問題や経済問題等の相談対応でしたが、関わらせていただいた方の中には少数ながら、違法薬物での逮捕歴やほかの罪名で受刑歴がある方もおりました。

精神科を受診される方の多くは、背景として家庭問題、仕事や学校でのトラブルを抱えております。健康に暮らしている方に比べると、問題が深刻であることが多いのですが、その中でも、受刑歴や逮捕歴がある方たちはまた一段と状況が深刻で、特に、周囲に家族等の助けがくれる

人がいないことが多かったのが印象的でした。

秋田至仁会に勤務してからまだ数か月しか経っておりませんが、入所者の方たちの経歴等を聞くと、そのことを再確認しているところです。

「人は一人では生きられない」とよく言われますが、私はこれまでの精神科勤務でそのことを痛感してまいりました。人との関わりの中で人は変化し、時に薬ではなかなか治らなかった方でもよくなっていく様子を目にしてきました。

更生保護施設で生活する短期間で、入所者の方々が何か大きな変化を遂げることは難しいのかもしれませんが、後で思い返して、あの時秋田至仁会に入ってよかった、と思ってもえらえるような支援をできたらと考えています。

秋田県就労支援事業者機構

平素から、当機構の活動に対し、御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も御案内しているところですが、当機構では、秋田県版の協力雇用主パンフレットを作成しております。

このパンフレットには、新たに協力雇用主への登録を希望される事業主の方に向け、協力雇用主制度の趣旨説明、協力雇用主が利用できる就労支援メニュー等の概要説明を掲載しています。パンフレット御希望の方がいらっ

しやいましたら、御遠慮なく事務局までお申し付けください。



秋田県就労支援事業者機構からのお知らせ

令和2年1月1日から

身元保証制度が改正になります。

改正点はいくつかあるのですが、新たに、雇用されている者について「臨時的な雇用でないこと」を示していたと、雇用主が「労働法令を遵守していること」について示していたことが必要になります。

この点について、雇用されている者については「雇用保険被保険者資格を取得すること」、雇用主については「労働保険の加入手続きが行われていること」が要件となります。

本改正前に雇用契約し、改正後も身元保証期間が継続する場合、右記線部分が必要になる見込みですので、身元保証制度を利用される場合は、御留意願います。

- 認定特定非営利活動法人全国就労支援事業者機構が行っている身元保証制度について、令和2年1月1日から改正になります。詳しいことは、おつて保護観察所から各地区協力雇用主会へ文書にてお知らせしますので、ここではおおまかな変更点について紹介します。
1. 名称が「身元保証システム」から「身元保証支援事業」に改められます。
 2. 対象となる者の名称について「被保証者」から「就労支援者」に改められます。
 3. 損害に対する支払金の名称が「補償金」から「見舞金」に改められます。
 4. 雇用されている者について「臨時的な雇用でないこと」「雇用主が労働法令を遵守していること」の双方について示すことが必要となります。

・「臨時的な雇用でないこと」を示すとは
雇用されている者については、「雇用保険被保険者資格を取得すること」が要件となります。

・雇用主が「労働法令を遵守していること」を示すとは
雇用主については、「労働保険の加入手続きが行われていること」が要件となります。

秋田保護観察所

今年度の東北地方再犯防止シンポジウムは、令和元年10月15日（火）仙台国際センターにて開催され、県内からも保護司をはじめ多数の方にご出席いただきました。また、台風19号により甚大な被害もでており、同シンポジウム自体開催できるのか懸念される状況でしたが、実際には予想を超える出席者数であったため、会場内の座席が足りないほどの盛況ぶりでした。

今回の同シンポジウムは、『依存の問題を抱える犯罪を犯した者等への支援の在り方』を副題として、依存症治療専門医の基調講演と、仙台において依存症の支援を実践している各機関・団体によるパネルディスカッションが行われました。

基調講演の講師は、アルコール依存の治療から依存症臨床に入ったこととで、治療者（支援・援助者）から見た依存症が主な講演内容でした。依存症当事者と支援・援助者との信頼関係構築が第一であることを何度も強調され、「依存症は病気。底付き体験をしている時点で手遅れ。ガンで言えば未



期である。そこから治療するのは非常に困難であるのが明らかなので、いかに早期から介入するかが重要。」と話されていたのが印象的でした。

このところ有名人の薬物事件が続いており、薬物を代表とする依存症に対する社会的関心は非常に高くなっているところですが、一方で依存症の『本当の実態』については、どこまで社会の理解が進んでいるのだろうかと感じます。また、『依存症当事者と支援・援助者との信頼関係構築』は保護観察にも共通する課題であり、果たして自分に対象者にとつてどのような存在なのだろうか？と考えさせられるシンポジウムでした。

作品紹介



湯沢地区保護司会で作ったホゴちゃんです
(サボセンに飾ってあります)

秋田県BBS連盟

★秋田矯正展

7月7日、秋田刑務所で開催。学生会員が多数参加。

★第69回社会を明るくする運動強調月間

7月1日、秋田駅東西連絡自由通路で秋田地区会が中心となり広報活動。社明運動広報資料の配布を行った。

★更生保護制度施行70周年記念 第52回秋田県更生保護大会

11月14日、秋田市文化会館で開催され、秋田地区3人、能代地区1人、湯沢地区6人が表彰された。菅原会長が大会宣言の読み上げを行った。

★「ハング・ルーズ」青年教室の通年開催

秋田地区BBS会が中心となり、障がいのある青少年と地域行事やレクリエーションなどの余暇活動を楽しむ交流を毎月第4日曜日に行っている。11月は明徳地区コミュニティセンターでパンケーキ作り、12月は秋田大学でクリスマス会を行い、交流を深めた。

★天使園学習ボランティア

秋田市保戸野にある児童養護施設・聖園天使園の子どもたちの宿題を手伝ったり、勉強を教えたりする学習ボランティアを毎週土曜日の午前中に行っている。



11月30日開催 保護司・更生女・BBS連携強化研修の様子

2回 秋田県更生保護大会

令和元年11月14日(木)
秋田市文化会館大ホール

去る令和元年11月14日(木)、秋田市文化会館大ホールにて、東北地方更生保護委員会委員長ほか多数の来賓のご臨席の下、保護司をはじめとする県下更生保護関係者約850人の参加を得て、更生保護制度施行70周年記念第52回秋田県更生保護大会が厳粛かつ盛大に開催されました。

大和谷道子秋田県更生保護女性連盟副会長の開会のことばにはじまり、続いて「社会を明るくする運動」作文コンテストの優秀賞、工藤夏美さん(秋田市立泉小学校6年)、斎藤舜介さん(藤里町立藤里中学校2年)が作文を朗読しました。

次に、NHK秋田放送局長吉野真史氏から「伝えたいことが伝わるために」と題しましてご講演いただきました。

その後、顕彰式典に移り、柳沢和子県保連会長式辞、10月7日に開催された全国大会での天皇陛下おことばを宮原文彌県保連顧問が御奉読されました。続いて、県下の更生保護事業にご功績のあった方々の顕彰を行うとともに今後ますますの更生保護の発展を祈念し、大会は盛会裏に終了しました。

顕彰

○叙勲・褒章(更生保護功労・功績)

・瑞宝双光章

・藍綬褒章

○法務大臣表彰

○法務大臣感謝状

2名及び2団体

○更生保護法人表彰

(更生保護法人役職員)

1名

表彰

○保護司

156名

○家族功労者

38名

○更生保護女性会員

141名

○民間協力者

14団体及び18名

○「社会を明るくする運動」作文

コンテスト優秀賞入賞者 6名

以上の方々にそれぞれ表彰状、感謝状が授与されました。

受賞者を代表して鹿角地区保護司会の阿部照芳保護司から謝辞がありました。

その後、東北地方更生保護委員会委員長田中一哉氏をはじめ秋田県知事(代理)、裁判所長、検事正から御祝辞をいただきました。

続いて、大会宣言文を秋田県BS連盟会長菅原大氏が読み上げ満場一致で採択され、最後に今野幸悦秋田県保連司会連合会副会長のことばにより更生保護制度施行70周年記念第52回秋田県更生保護大会の全日程を終了しました。

なお、本大会の準備・運営は秋田地区保護司会・秋田地区更生保護女性の会・臨港地区更生保護女性の会の御協力がありましたことを付け加えておきます。

(文責 新野)



作文コンテスト入賞者への記念品贈呈



ホゴちゃんと一緒に



ステージ上全体



伝えたいことが伝わるために
～テレビ番組の制作者が大切にしている4つのこと～



吉野真史氏によるご講演



更生保護制度施行70周年記念 第5



佐々木康志秋田保護観察所長のあいさつ



宮原文彌氏による天皇陛下お言葉の御奉読



柳沢和子秋田県保護司会連合会会長の式辞



阿部保護司による謝辞



表彰状伝達



第53回 秋田県更生保護大会

令和2年
11月19日(木)
秋田市文化会館(大ホール)
にて開催されます



法務大臣表彰の方々



会場内

▽中学生の部
藤里町立藤里中学校2年 斎藤 舜介
「心をつなげる一言」
秋田市立河辺中学校2年 石井 沙英
「共感から始まる助け合い」
湯沢市立湯沢南中学校3年 伊藤 煌人
「つながり」

▽小学生の部
秋田市立泉小学校6年 工藤 夏美
「人との関わり合いの大切さ」
湯沢市立三梨小学校6年 折原 来和
「犯罪の無い
明るい社会を目指して」
北秋田市立米内沢小学校5年 奥山美唯菜
「一歩、ふみ出そう」

*秋田県推進委員会 優秀賞
*【中央推進委員会】
日本更生保護女性連盟会長賞
秋田市立河辺中学校2年 石井 沙英
「共感から始まる助け合い」

第69回「社会を明るくする運動」
★作文コンテスト入賞者
おめでとう!!

栄誉に輝く

叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章

(令和元年11月3日)

令和元年度秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。

永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



奈良和子
(大館保護区)

藍綬褒章

(更生保護功績)



佐藤進一
(北秋田保護区)

更生保護以外

瑞宝单光章

(消防功労)

嶋津 昌彦
(大曲保護区)

保護司の異動

依願解雇

(敬称略)

(令和元年9月30日付)

田中 久美子(秋田〔中央〕)

(令和元年11月30日付)

高橋 龍史(大曲)

任期満了

(令和元年11月30日)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。

(敬称略)

加藤 忠輔(秋田〔東〕)

水戸瀬 春二(秋田〔臨港〕)

田口 敏夫(秋田〔中央〕)

古仲 宗賢(男鹿)

佐藤 チヅ子(能代)

宮原 文彌(大館)

金田 晴美(大館)

奥山 芳壽(北秋田)

今坂 博光(鹿角)

佐藤 ユリ子(本荘)

菊田 幸一(大曲)

新任

(令和元年12月1日付)

次の方々が委嘱されました。よろしく願います。今後の御活躍に期待します。

(敬称略)

保護区変更

(令和元年9月2日)

津谷 聡(秋田〔東〕→北秋田)

(令和元年12月10日)

鎌田 信男(大曲→秋田〔東〕)

おくやみ

佐藤 晴治(男鹿) 元男鹿地区会長

菊地 恭一(本荘) 元本荘地区会長

小野崎 米子(湯沢) 元湯沢地区会長

編集後記

令和二年は子年、今年には元号が令和になって初のお正月。「子」は十支の一番目。子という字は小さな子供を描いた象形文字で、子供の髪の毛が伸びることを示している。

動物はネズミが当てられた。人間にとつて迷惑ものというイメージだが、人の関わりは古く縄文、弥生時代から、子年生まれの運勢は、正直で無邪気、外面は柔和に見える仕事に励めば晩年は安泰。今こそネズミは汚いもの、害を為すものとされているが、昔は、家や人に幸せをもたらすものと考えられていた、といふから意外である。とりわけ「白鼠」は稀にしか現れないため。宝物として朝廷に献上されるほどだった。

俳句の季語にも使われている。「明るく夜もほのかに嬉し嫁が君」「嫁が君」とはネズミのこと正月言葉、新年の季語だったようである。ここである「嫁が君」とは忌詞。当時、ネズミは婚に迎えるお嫁さんのように大事な存在だったのだらうと。また正月にはネズミモチを供える地方もあり、鼠の害を避けるためである。しかしその反面、ネズミはお大黒さんのお使いとされ福や宝をもたらす神聖な動物とされていた。

ネズミといえは敬遠され邪魔もの扱いされている代表的な小動物。しかし意外にも国内各地には鼠の付いている関所や地域がある。たとえば山形県の鼠ヶ関「念珠ヶ関」。上杉景勝が城を構えたことされる長野県埴科郡の地には鼠宿があった。もちろん現在でも鼠という字の付く地名は国内各地に残っている。そのネズミとなぜ呼ばれるようになったのか。その語源には様々な説があり、一つには「根柢」。「根柢」。一つには「寝盗見」とのこと、

編集委員

櫻田 元宏(編集委員長)

加賀谷 文秋 新野 建臣

北林 暢子 伊藤 妙子

久野 昌美 廣瀬 直子

菊地 皆美